

技術功績賞

第1回(昭和37年度)〈授賞式 昭和38年5月15日〉

- 各種粉体製品の生産技術の開発 (東京芝浦電気砂町工場長) 上 田 嗣 郎
- 軟磁性フェライト製造技術の開発 (東京電気化学工業電子事業部長) 柄 沢 忠 義
- 超硬および一般粉末冶金技術の研究ならびに開発 (住友電気工業伊丹研究部長) 窪 田 治 夫
- 超硬工具生産技術の開発 (東芝タンガロイ取締役研究部長) 長 富 修 吉
- (東芝タンガロイ合金部長) 笠 原 成 信
- タングステンモリブデン粉末冶金技術の基礎の確立 (日本タングステン) 前 田 実
- 高融点金属粉末冶金の国産技術開発ならびに多年に亘る粉末冶金技術の普及 (早稲田大学教授) 若 林 孝 治
- 超硬および鉄系粉末冶金の研究ならびに技術開発 (三菱原子力工業機械研究室長) 渡 辺 孝 章

第2回(昭和38年度)〈授賞式 昭和39年5月27日〉

- タングステン粉末冶金の基礎研究による製造技術の開発 (松下電子工業研究所研究室長) 小 笹 稔
- フェライトの磁気特性研究による用途開発 (住友特殊金属取締役研究開発部長) 七 条 祐 三
- 焼結部品の機械的強度の研究 (住友電気工業特品工場長) 林 悦 雄
- 耐震耐衝撃性タングステン線条の製造技術の開発 (東光電気常務取締役) 矢 島 林二郎

第3回(昭和39年度)〈授賞式 昭和40年5月10日〉

- タングステン等希有金属の精錬および粉末冶金技術の確立 (日本タングステン材料技術部長) 加 瀬 薫
- 新OP磁石の製造技術の開発 (三菱電機電子材料専門部長) 中 村 弘

第4回(昭和40年度)〈授賞式 昭和41年5月10日〉

- 超高透磁率磁心ネフェライトの発明 (日本電気) 明 石 雅 夫
- 高品質通信用フェライトの開発 (東京電気化学工業中央研究所長) 平 賀 貞太郎

第5回(昭和41年度)〈授賞式 昭和42年5月17日〉

- メモリー用フェライトコアの製造技術の確立 (富士電気化学常務取締役) 小 林 成 彬
- 超硬合金に関する製造技術の研究開発 (住友電気工業伊丹研究部副部長) 三 好 章 義

第6回(昭和42年度)〈授賞式 昭和43年5月13日〉

- テレビジョン用蛍光体および蛍光顔料の研究開発 (シンロイヒ専務取締役) 大 谷 信 吉
- 金属ならびに酸化物の焼結生産技術開発 (東京芝浦電気核燃料課長) 西 島 寅 次
- モリブデン冶金および一般粉末冶金技術の研究ならびに開発 (三菱金属鉱業新潟工場長) 的 場 敏 夫

第7回(昭和43年度)〈授賞式 昭和44年5月14日〉

- 粉末冶金技術の開発向上 (焼結金属工業研究課長) 熊 谷 五 郎
- タングステンの粉末冶金に関する研究と開発 (松下電子工業技術課長) 辻 川 正 弘
- タングステンおよびモリブデンの粉末冶金に関する研究と開発 (東京芝浦電気金属材料技術部長) 八 百 輝 彦

第8回(昭和44年度)〈授賞式 昭和45年5月6日〉

- タングステンおよびその合金に関する製造技術の研究開発 (日本タングステン主任研究員) 伊 藤 普
- フェライト原料その他の磁性材料の量産技術の研究開発 (戸田工業代表取締役社長) 戸 田 英 夫

第9回(昭和45年度)〈授賞式 昭和46年5月10日〉

- アルミナ焼結工具の製造に関する研究 (京都セラミック研究部長) 浜 野 義 光
- 黄色顔料および磁性材料用酸化鉄の合成に関する研究 (日本化学製錬専務取締役) 小 田 基 礎

第10回(昭和46年度)〈授賞式 昭和47年5月15日〉

- 焼結合金の研究開発 (住友電気工業) 川 北 宇 夫
- 各種特殊フェライト製造および応用技術 (東京芝浦電気セラミック材料試作課長) 千 葉 脩
- 超硬合金の製造技術の発達に対する貢献 (神奈川県工業試験所専門研究員) 望 月 照 一

第11回(昭和47年度)〈授賞式 昭和48年5月7日〉

- アトマイズ金属粉の生産技術の開発 (福田金属箔粉工業取締役工場長) 長谷川 徳四郎
- W, Mo 鉱石の製錬およびW, Mo 金属粉末の製造ならびに超硬用WCの生産開発 (日本新金属専務取締役) 青 田 励 二
- 第12回 (昭和48年度) 〈授賞式 昭和49年5月14日〉**
- 高性能磁気記録用磁性粉末の製造法の開発 (戸田工業創造部長) 清 水 恵 己
- タービン用クロムカーバイト基耐食材料の研究開発 (東京芝浦電気研究主務) 鈴 木 一 雄
- 焼結クロム鋼および分散強化型耐熱鋼の開発 (住友電気工業主任研究員) 本 吉 健 也
- 第13回 (昭和49年度) 〈授賞式 昭和50年5月13日〉**
- 高安定圧電セラミックスの研究 (東京芝浦電気セラミック材料開発課長) 一ノ瀬 昇
- 高密度還元鉄粉の製造技術の開発研究 (川崎製鉄主任研究員) 森 岡 恭 昭
- 超硬合金の生産技術の開発 (三菱金属東京製作所次長) 三 宅 一 男
- 第14回 (昭和50年度) 〈授賞式 昭和51年5月11日〉**
- 粉末冶金法による接点材料の開発研究 (住友電気工業主任研究員) 樺 山 資 章
- 第15回 (昭和51年度) 〈授賞式 昭和52年5月17日〉**
- 焼結用電気炉の開発 (山崎電機工業) 山 崎 良 雄
- 焼結摺動材料に関する研究 (富士カーボン製造所常任顧問) 熊 谷 正 博
- 超硬合金材料およびその製造技術開発 (東芝タンガロイ担当部長代理) 山 家 菱
- 第16回 (昭和52年度) 〈授賞式 昭和53年5月16日〉**
- 酸化鉄黒色および赤色顔料の湿式製法の量産技術の開発 (戸田工業専務取締役) 戸 田 浩 次
- アトマイズ鋼粉の製造技術及び利用技術の開発 (神戸製鋼所企画部担当部長) 湯 河 透
- 火花放電による微粉末の生成に関する研究 (岩谷産業中央研究所長) 石 橋 渡
- 第17回 (昭和53年度) 〈授賞式 昭和54年5月14日〉**
- 高密度フェライトの合成技術の研究並びに開発 (住友特殊金属技術開発部主任部員) 高 間 榮 三
- サーメット工具の製造技術並びに応用技術の開発 (日本特殊陶業特殊工具部長) 鈴 木 滋
- 第18回 (昭和54年度) 〈授賞式 昭和55年5月26日〉**
- 電気接点材料に関する技術開発 (日本タングステン接点部部長) 柴 田 拓
- 高性能セラミック湿度センサの開発 (松下電器産業第3研究室室長) 新 田 恒 治
- 超硬合金の機械的特性に関する研究 (三菱金属合金課長) 富士原 由 雄
- 第20回 (昭和56年度) 〈授賞式 昭和57年5月17日〉**
- 強度を要因として新しいセラミックスの開発と応用 (豊田中央研究所取締役) 上垣外 修 己
- 超硬合金の生産技術及び新材質の開発 (住友電気工業研究開発本部長) 土 井 良 彦
- 粉末高速度鋼の生産技術の確立とその適用分野の拡大 (神戸製鋼所粉末ハイス担当次長) 萬 戸 博 宗
- 第22回 (昭和58年度) 〈授賞式 昭和59年5月22日〉**
- 磁気記録媒体およびその周辺機器の開発と製造 (東京磁気印刷専務取締役) 並 河 守
- 高強度焼結機械部品用材料の開発 (日立粉末冶金開発部副技師長) 早 坂 忠 郎
- 第23回 (昭和59年度) 〈授賞式 昭和60年5月28日〉**
- カーセラミックス製造技術確立 (日本電装セラミックス技術部長) 黄 木 正 美
- 高合金鋼および超合金粉末の製造とその応用 (大同特殊鋼第8研究室室長) 草 加 勝 司
- SrTiO₃系誘電体セラミックスの開発 (太陽誘電取締役副社長) 山 岡 信 立
- 第24回 (昭和60年度) 〈授賞式 昭和61年5月27日〉**
- 磁気記録および電子写真用ソフトフェライトの製造技術と応用開発 (日立金属主管研究員) 飯 村 勉
- スイッチングトランス用低損失フェライトの開発 (TDKフェライト研究部長) 奥 谷 克 伸
- Fe系焼結機械部品生産技術の開発 (住友電気工業粉末合金事業部長) 古 川 信 雄
- 第26回 (昭和62年度) 〈授賞式 昭和63年5月16日〉**
- 成形性に優れた低密度青銅合金粉の開発並びに製造 (日本アトマイズ加工) 後 藤 修 一
- 第27回 (昭和63年度) 〈授賞式 平成元年5月23日〉**

- 内燃機関動弁系部品用焼結材料の開発 (日立粉末冶金粉末冶金開発部長) 遠 藤 弘 之
- 高強度鉄系焼結機械部品の開発 (東京焼結金属取締役品質保証部長) 田 端 孝 章
- 第28回 (平成元年度) <授賞式 平成2年5月29日>**
- 高強度焼結部品用低合金鋼粉の開発 (川崎製鉄金属粉末グループリーダー) 高 城 重 彰
- 第29回 (平成2年度) <授賞式 平成3年5月29日>**
- 高強度鉄系、アルミニウム系等の焼結機械部品の開発 (住友電気工業特許部部長補佐) 黒 石 農 士
- 高級特殊鋼への粉末冶金技術の適用と工業化 (日立金属技術部主管技師) 中 村 秀 樹
- セラミック工具材料の研究及びその製造技術開発 (日本タングステン第一研究開発部長) 古 川 満 彦
- 第30回 (平成3年度) <授賞式 平成4年6月9日>**
- 焼結部品の高強度・高靱性化のためのプロセス技術の開発 (三菱マテリアル粉末冶金研究部室長) 河 野 通
- 音響、映像用焼結含油軸受材料の開発 (日立粉末冶金粉末冶金開発部主任研究員) 四 方 英 雄
- Sr - フェライト焼結体に関する研究並びに Sr - フェライト磁石の開発 (住友特殊金属生産技術部担当部長) 濱 村 敦
- 第31回 (平成4年度) <授賞式 平成5年5月24日>**
- 各種金属のアトマイズ法の開発とその量産化 (福田金属箔粉工業参与) 今 村 秀 哉
- 熱間等方圧加圧(HIP)利用技術の研究開発 (神戸製鋼所生産技術部長) 河 合 伸 泰
- 酸化鉄粉末の合成と応用技術に関する研究 (戸田工業取締役副本部長) 堀 石 七 生
- 第32回 (平成5年度) <授賞式 平成6年5月24日>**
- 焼結拡散接合法の開発 (日立粉末冶金主任技師) 浅 香 一 夫
- 自動車用焼結部品の設計・生産技術の開発 (住友電気工業知的財産部技師長) 小野田 岑 夫
- 粉末冶金法による高速度用電気集電材 (スライダー) の研究・開発 (三菱マテリアル知的財産部管理グループリーダー) 寺 岡 利 雄
- 第33回 (平成6年度) <授賞式 平成7年6月27日>**
- 超微粒炭化タングステン粉末および超微粒超硬合金の製造技術の開発 (東京タングステン常務取締役) 志 垣 憲 良
- 鉄系焼結機械部品の生産技術開発 (東京焼結金属取締役川越工場長) 島 田 一 男
- 合成ダイヤモンド及び立方窒化ほう素を用いた新製品の開発 (住友電気工業ダイヤモンド製品事業部長) 矢 津 修 示
- 第34回 (平成7年度) <授賞式 平成8年5月21日>**
- 低損失 Mn - Zn フェライトの開発 (トーキン電子材料事業本部商品開発部長) 大 槻 悦 夫
- 磁気記録およびマイクロ波用高密度フェライトの開発 (日立金属磁性材料研究所長) 篠 原 肇
- 焼結摩擦材料の開発 (日本粉末合金第2技術部部長代理) 富 山 嘉 孝
- 第35回 (平成8年度) <授賞式 平成9年5月27日>**
- 鉄・マンガン溶液の共バイ焼法によるフェライト材料製造プロセスの開発、事業化 (TDK顧問) 落 合 達四郎
- 反応焼結法による高強度複硼化物系硬質材料の開発 (東洋鋼板技術部副長) 高 木 研 一
- 高強度チタニウムセラミックスの開発と製品化 (大阪ダイヤモンド工業取締役支配人研究開発部長) 三 宅 雅 也
- 第36回 (平成9年度) <授賞式 平成10年5月26日>**
- 焼結鍛造コンロッドの生産システムの開発・実用化 (トヨタ自動車第2部品技術室長) 石 原 貞 男
- 高密度磁気記録ヘッド材料の開発 (松下電器産業研究本部材料担当技監) 釘 宮 公 一
- 高性能エンジン用焼結部品及び材料の開発 (日産自動車技術開発センター技師) 藤 木 章
- 第37回 (平成10年度) <授賞式 平成11年6月1日>**
- 耐熱金属材料の研究開発 (東京タングステン取締役支配人) 五十嵐 廉
- 非酸化物セラミックス粉体の製造技術の開発 (日本新金属嘱託) 土 井 博 司
- 第38回 (平成11年度) <授賞式 平成12年5月16日>**
- 自動車エンジン用タイミングベルトプーリの焼結化 (日立粉末冶金機械部品設計部長) 酒 井 純
- 放電プラズマ焼結(SPS)法の技術開発と実用化 (住友石炭炭素焼結事業部長) 鴫 田 正 雄
- 電子セラミックス部品材料の開発と事業化 (TDK取締役基礎材料研究所長) 野 村 武 史
- 第39回 (平成12年度) <授賞式 平成13年5月22日>**

- 機能性プレミックス鉄粉の開発 (川崎製鉄鉄粉営業部主査) 小 倉 邦 明
- 超小型積層セラミックスチップ部品と積層モジュールの開発 (太陽誘電物性解析センター長) 藤 本 正 之
- 自動車用エンジンの高性能パルプシートの開発 (日本粉末合金第一製造部長) 森 本 俊 男

第40回 (平成13年度) 〈授賞式 平成14年5月27日〉

- 粉末冶金用銅及び銅合金粉の製造技術開発 (福田金属箔粉工業研究企画室長) 岩 津 修
- 切削工具用サーメット系新材料の開発と応用 (住友電気工業(株)取締役粉末合金事業部長) 野 村 俊 雄

第41回 (平成14年度) 〈授賞式 平成15年5月21日〉

- 自動車用高被削性鉄系焼結材料の開発 (日立粉末冶金主任研究員) 石 井 啓
- ニッケル電極積層コンデンサ用誘電体材料の開発と実用化 (村田製作所執行役員・統括部長) 坂 部 行 雄
- 微細粒金属系軟磁性材料の開発 (日立金属先端エレクトロニクス研究所長) 山 内 清 隆

第42回 (平成15年度) 〈授賞式 平成16年5月25日〉

- 流れ性、充填性を重視した粉末冶金用プレミックス鉄粉の開発 (神戸製鋼所鉄粉工場鉄粉技術室長) 関 義 和
- 高性能粉末冶金材料およびその製造プロセスの開発 (ヘガネスジャパンテクニカルサポート部長) 武 田 義 信
- Nd - Fe - B 系 HDDR 磁石材料の高性能化と実用化に関する研究 (三菱マテリアル新潟製作所開発センター長) 森 本 耕一郎

第43回 (平成16年度) 〈授賞式 平成17年6月1日〉

- 民生用フェライトコアの製造技術の確立 (F D K顧問) 鈴 木 惟 司
- リラクサ系圧電材料の開発 (東芝研究主幹) 山 下 洋 八

第44回 (平成17年度) 〈授賞式 平成18年5月22日〉

- 高精度・高密度粉末成形技術の開発 (豊田中央研究所金属基盤研究室主席技師) 近 藤 幹 夫
- 高性能超硬工具の開発 (三菱マテリアル岐阜製作所所長補佐) 棚 瀬 照 義

第45回 (平成18年度) 〈授賞式 平成19年6月5日〉

- 希土類焼結磁石用原料合金の新製造方法(ストリップキャスト法)の開発 (三徳取締役社長) 岡 田 力
- チタン基焼結硬質合金の開発と腐食特性に関する研究 (日本タングステン取締役営業部長) 坂 口 茂 也
- 高機能窒化物セラミックスの材料開発およびその製品化 (住友電気工業エレクトロニクス・材料研究所長) 山 川 晃

第46回 (平成19年度) 〈授賞式 平成20年5月27日〉

- 大容量 Ni 電極積層セラミックコンデンサ用誘電体材料の開発 (太陽誘電技術企画統括部長) 岸 弘 志
- 焼結部品のロスゼロ技術の開発・実用化 (トヨタ自動車第1要素生技部主査) 竹 本 恵 英
- 各種表面改質および加工を施した超硬合金の技術開発 (ダイジェット工業取締役技術部長) 山 本 勉

第47回 (平成20年度) 〈授賞式 平成21年6月2日〉

- 粉末冶金技術を活用した超硬工具材料の開発およびその製品化 (住友電気工業エレクトロニクス・材料研究所技師長) 池ヶ谷 明 彦
- CVD 法による高性能被覆切削工具の開発 (三菱マテリアル中央研究所薄膜材料研究部長) 長 田 晃

第48回 (平成21年度) 〈授賞式 平成22年5月25日〉

- 水溶液中で作製したゲータイト粒子の形状制御による磁気テープ材料の高機能化 (戸田工業小野田創造センターグループリーダー) 黒 川 晴 己
- 耐摩耗工具用超硬合金の開発 (富士ダイス生産開発副本部長) 寺 田 修
- 雰囲気制御 HIP 処理技術および装置技術の開発 (金属技術本部部長) 藤 川 隆 男

第49回 (平成22年度) 〈授賞式 平成23年5月30日〉

- 電子機器用回路素子内蔵多層基板の開発と工業化 (村田製作所材料材料開発統括部執行役員) 鷹 木 洋
- 超微粒 WC 粉末に関する技術開発 (アライドマテリアル参与) 山 本 良 治

第50回 (平成23年度) 〈授賞式 平成24年5月22日〉

- 粉末冶金を用いた軟質磁性材の開発および工業化 (日立粉末冶金磁気部品グループ長) 石 原 千 生
- 樹脂複合化による焼結機能部品の開発 (ファインシンター川越工場長) 山 本 政 幸

第51回 (平成24年度) 〈授賞式 平成25年5月27日〉

- 切削工具用硬質材料の研究開発 (タンガロイ執行役員技術本部部長) 木 下 聡

○超高压高温技術を用いた新規ダイヤモンド/cBN 材料の開発およびその製品化

(住友電気工業アドバンストマテリアル研究所主幹) 角 谷 均

第52回(平成25年度)〈授賞式 平成26年6月3日〉

○超高压水アトマイズ金属極微細粉末の工業化とその粉末冶金への応用 (加藤技術士事務所代表) 加 藤 欽 之

○工具用超硬合金の研究開発 (日立ツール開発センター主管技師) 久 保 裕

○高性能粉末冶金材料の開発と製品化 (住友電工焼結合金代表取締役社長) 林 哲 也

第53回(平成26年度)〈授賞式 平成27年5月26日〉

○耐摩耐食用超硬合金の研究開発 (日本タングステン常務取締役) 徳 本 啓

第54回(平成27年度)〈授賞式 平成28年5月24日〉

○鉄系焼結部品に関する技術開発と実用化 (ダイヤモンド開発部長) 川 瀬 欣 也

○高生産性金属粉末成形技術の開発 (日立オートモティブシステムズテクニカルアドバイザー) 菅 谷 好 美

○エンジニアリングセラミックス複合新材料の研究開発と量産、実用化
(日本タングステンテクニカルアドバイザー) 永 野 光 芳

第55回(平成28年度)〈授賞式 平成29年5月31日〉

○高性能銅系焼結部品用原料粉末の開発 (福田金属箔粉工業取締役技術本部研究開発部長) 新 見 義 朗

○アモルファス軟磁性粉末および成形磁心の開発と製品化 (エプソンアトミックス代表取締役社長) 大 塚 勇

第56回(平成29年度)〈授賞式 平成30年5月14日〉

○粉末冶金原料成形用粉末潤滑剤の開発 (ADEKAケミカルサブライ開発研究所長代理) 安 達 恭 史

○切削工具用セラミック材料の開発 (日本特殊陶業事業開発事業部長) 浦 島 和 浩

○高性能焼結炉用部材の開発と製品化 (ニッケーター常務取締役生産本部長) 大 西 宏 司

第57回(平成30年度)〈授賞式 2019年6月4日〉

○圧電セラミック材料の技術開発 (村田製作所新規技術センター特別研究員) 安 藤 陽

○耐食性超硬合金の腐食メカニズムの研究と開発・実用化 (日本タングステン取締役常勤監査等委員) 今 里 州 一

○傾斜機能硬質材料の開発 (住友電気工業アドバンストマテリアル研究所硬質材料研究部部長) 津 田 圭 一

第58回(令和元年度)〈授賞日 2020年5月26日〉

○金属粉末冶金製品の設計および製造技術開発 (ポーライト品質取締役品質統括部長) 島 田 登

○自動車用焼結部品の革新的成形技術開発および実用化 (トヨタ自動車(大豊精機理事出向)) 中 谷 和 通

○Nd - Fe - B 永久磁石材料の開発量産化に係る基礎研究
(物質・材料研究機構磁性・スピントロニクス材料研究拠点元素戦略磁性材料研究拠点特別研究員) 広 沢 哲

第59回(令和2年度)〈授賞式 2021年6月3日〉

○先進切削工具用材料に関する製造技術の確立と製品化 (京セラ機械工具事業本部理事) 石 井 健

○電子部品用セラミック材料の開発と実用化 (元村田製作所) 鴻 池 健 弘

○超精細金属射出成型(μ -MIM)技術の開発実用化 (太盛工業代表取締役会長) 田 中 茂 雄

第60回(令和3年度)〈授賞式 2022年5月24日〉

○高周波用低温焼成セラミック材料の開発、実用化 (村田製作所プリンシパルリサーチャー) 杉 本 安 隆

○切削工具用の高性能超硬合金の開発 (三菱マテリアル筑波製作所所長) 谷 内 俊 之

○ガスアトマイズ粉末による高機能・高性能材料の実用化
(兵庫県立大学金属新素材研究センター副センター長・特任教授) 柳 谷 彰 彦

第61回(令和4年度)〈授賞式 2023年6月6日〉

○高強度焼結部品用合金鋼粉の開発 (JFEスチールスチール研究所ステンレス鋼・鉄粉研究部 部長) 宇 波 繁

○WC-Co 基超微粒超硬合金の基礎研究と製品開発
(富士ダイス技術開発本部開発センター材料開発部上級エキスパート) 川 上 優

○電子・レーザービーム金属粉末積層造形法による整形外科医療デバイスの技術開発と製品化
(帝人ナカシマメディカル取締役会長) 中 島 義 雄

第62回（令和5年度）〈授賞式 2024年5月21日〉

○軟磁性金属ガラス粉末およびこれを用いた電子デバイスの開発と製品化

（アルプスアルパインLプロジェクト主任技師）小 柴 寿 人

○超硬合金の組織、特性、性能向上に関する技術開発

（日本特殊合金取締役）高 田 真 之

第63回（令和6年度）〈授賞式 2025年5月28日〉

○誘電体材料を中心とした電子セラミックスの開発

（プロテリアル研究開発本部デジタル開発部主管研究員）島 田 武 司

○焼結硬質合金の腐食・機械的特性に関する研究と技術開発および商品展開

（日本タングステン経営企画担当取締役副社長執行役員）中 原 賢 治

第64回（令和7年度）〈授賞式 2026年5月26日〉

○純チタン、チタン合金粉末製造の商業化

（大阪チタニウムテクノロジーズ高機能事業部高機能材料部長）有 本 伸 弘

○エアロゾルデポジション法による半導体製造装置用部材の製品化

（TOTO 名誉フェロー）清 原 正 勝

○アルミナおよびアルミナ基セラミックスの開発と、切削工具への応用

（タンガロイ生産本部生産技術部長）高 橋 俊 行